

平成27年度(26年度実績) 総合評価書 <施設名 かさはら福祉センター>

1. 指定管理者名	(公社)多治見市シルバー人材センター
2. 指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
3. 業務の範囲	(1)福祉センターの事業の実施に関する業務、(2)福祉センターの使用許可業務、(3)福祉センターの維持管理に関する業務、(4)管理運営業務、(5)目的外使用許可に係る事務(6)その他福祉センターの管理運営に必要な業務

4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	
1	運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	-	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)			
			②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 平均値比(100%)=利用人数(延べ21,412人)÷21,383人=100%・・・上記(2)を適用		105%未満～95% 4点	・利用人数 23年度 21,655人、24年度 21,094人、25年度 21,402人 ・部屋別では健康相談室が微増、集会室が増えている。集会室の利用者の増加は講座回数、講座参加者が増加したと思われる。	8点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		30	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	別紙「事業評価表」のとおり	仕様書に忠実 9点	・昨年度に比べ講座の回数、参加人数とも増加した。 ・健康体操については、人気のあるバランスボールを使った体操や、3B体操に集約して開催され、参加人数も増加した。	18点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		-	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る2～0点	自主事業なし			
2	施設管理状況(25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	適正に実施されている。	適正(普通) 2点	・仕様書に定める回数、実施されている。	10点
			②保守・点検			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	・法定点検、日常点検ともに、適正に実施されている。	
			③保安・警備			適正に実施されている。なお、管理は、東濃セキュリティに業務委託されている。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
			④小規模修繕			①男子浴室浴槽手すり修繕 ②女子トイレ洗面台 ③排水溝のつまり ④身障トイレ修繕(排水逆流) ⑥照明器具取り替え ⑦給湯ボイラー修理(湯漏れ) ⑧給湯ボイラー(安全弁取り替え) ⑨2階ロビー(ロールブラインド取り替え) ⑩照明器具取り替え	適正(普通) 2点	・修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			適正に実施されている。(週に一度、危険箇所の有無について、確認が行われている)	適正(普通) 2点	・週に1回の点検及び各作業員が日常業務の中でも確認を行っている。	

施設管理状況（25点） （続）	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	適正に実施されている。	適正(普通) 2点	・報告書、各種伝票等は、文書処理規定により適正に管理されている。	10点	
		②環境への配慮			全職員等によりセンター周辺の除草作業の実施、センター玄関周りの花壇の設置整備を行い美化に努めた。	適正(普通) 2点	・多治見市の環境方針に準じて実施している。また、施設周辺の美化活動を行うなど、来館者への配慮に努めている。		
		③バリアフリー			バリアフリー化はされているが、介助が必要な場合は、職員が対応している。	適正(普通) 2点	・バリアフリー化されているが、利用者に高齢者が多いため、手助けが必要な場面があり、職員が対応している。		
		④備品管理			適正に実施されている。	適正(普通) 2点	・毎年度、全備品を点検し、利用できなくなったもの等については報告されている。		
		⑤個人情報保護			個人情報については、鍵付きのキャビネットにおいて管理されている。また、各個人のプライバシー保護のため各職員に周知徹底を行っている。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故は発生しなかった。	事故なし・対応に不備なし 0点	・事故が起こらないよう、職員が随時館内を巡回している。	0点	
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入25,960,114÷支出25,937,952＝100.08%	105%未満～100% 4点	・エアコン、風呂の燃料である灯油が前年に引き続き高騰しており、電気料金やも値上げとなっているが、節電に努めたことで黒字となっている。	4点
4	より良い施設運営のための取組（30点）	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	記入式のアンケートは実施していないが、施設管理者、受付担当者により常時来所者からの意見を聴取し、その都度対応を行っている。	適正(普通) 5点	・記入式のアンケートは実施していないが、来館者に口頭で意見を聴取し、その都度対応している。また、事業参加者へも口頭で意見を聴取し、次の事業に反映させている。	5点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情は特に受けていない。	苦情なし・適正(普通) 4点	・苦情なし。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	シルバー人材センターが施設を運営することで、地域の中で働く高齢者も利用し福祉センターを利用される健康な高齢者の方に福祉センターの利用と合わせて臨時的、短期的な就労を通した健康の維持と生きがいづくりの場の提供を行い多少の収入と生活のメリハリを持ち、また地域社会への参加を促し社会保障費の削減につながるものと思います。 電気、水道、灯油代などの経費の増加の中、利用者の方に迷惑をかけない範囲内で、経費節減に努めています。	適正(普通) 9点	・講座の開催数の増加により、来館者数も増加している。来館者や講座参加者の意見を確認し、事業を行うことで来館者が増加している点は評価できる。 ・高齢者の就労支援に関して、定例の時間を設け相談に応じるなど相談しやすい環境づくりを心掛けている。	9点
5	その他（減点方式）	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし	・提出書類は期限内に提出されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・指示したことは、即時対応されている。	0点
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計68点
									全体的な評価 ・良好に管理されている。 ・講座の開催数の増加に伴い、講座参加者数及び利用者数が増加している。また、燃料費が高騰する中、黒字を達成されており評価できる。 良好